

第V章 介護保障

1. 介護に対する不安意識

ここでは、介護に対する不安意識について、その程度や内容について捉えている。

(1) 自分の介護に対する不安の有無

まず、自分が将来要介護状態になった場合の不安の有無と程度を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、仮にご自身が将来介護される状態になった場合を考えると、どの程度不安を感じますか。

(ア) 非常に不安を感じる

(イ) 不安を感じる

(ウ) 少し不安を感じる

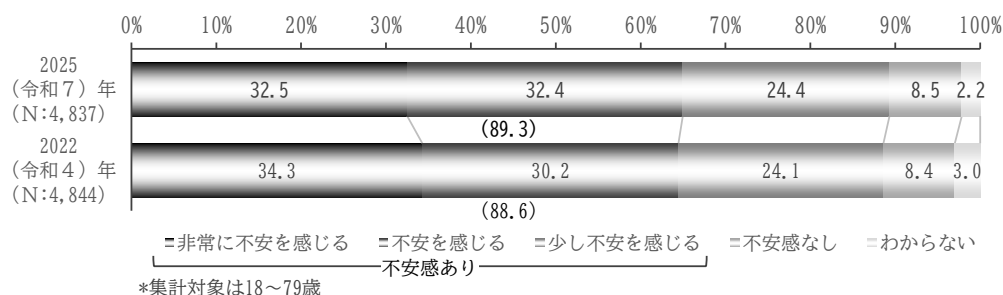
(エ) 不安を感じない …………… 以下「不安感なし」

わからない

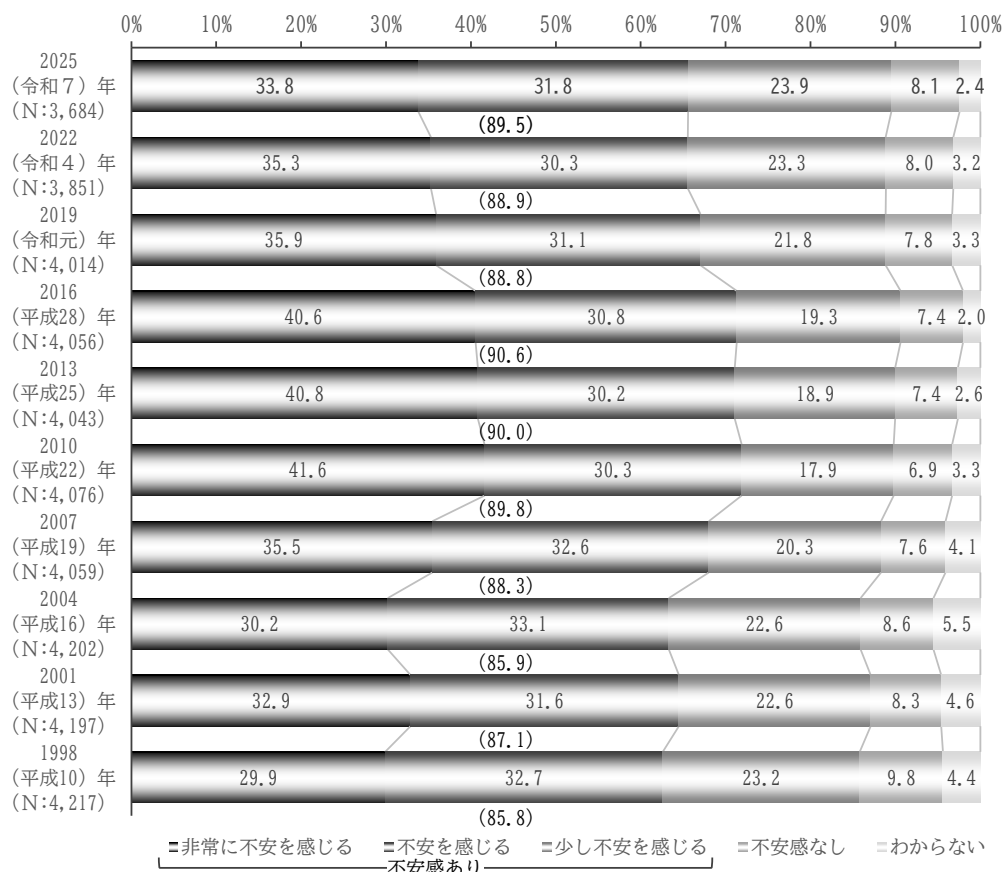
その結果、「不安感あり」（上記の選択肢で（ア）～（ウ）のいずれかに回答した人の合計）は89.3%、「不安感なし」は8.5%となっている。

前回と比較すると、「不安を感じる」が2.2ポイント増加している。（図表V-1）

<図表 V-1> 自分の介護に対する不安の有無



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



*2019（令和元）年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「不安感あり」は女性（91.3%）が男性（86.8%）を 4.5 ポイント上回っており、なかでも“非常に不安を感じる”で高くなっている。

性・年齢別にみると、「不安感あり」は男女とも 50 歳代で高くなっている。（図表 V-2）

<図表 V-2> 自分の介護に対する不安の有無〔性・年齢別〕

（単位：％）

	N	非常に不安 を感じる	不安を感じ る	少し不安を 感じる	不安感あり	不安感なし	わからない
男 性	2,101	28.1	32.8	25.8	86.8	10.6	2.6
20 歳代	181	22.1	26.5	28.2	76.8▲	13.3	9.9
30 歳代	225	30.2	34.2	21.8	86.2	11.6	2.2
40 歳代	363	31.1	31.1	25.6	87.9	10.2	1.9
50 歳代	406	32.8	35.0	23.6	91.4	6.7▲	2.0
60 歳代	404	25.5	33.7	28.7	87.9	11.1	1.0▲
70 歳代	485	26.2	34.0	26.8	87.0	11.3	1.6
女 性	2,736	35.9	32.2	23.2	91.3	6.9	1.8
20 歳代	165	26.7▲	32.1	23.6	82.4▲	12.7	4.8
30 歳代	282	36.5	32.3	18.1▲	86.9▲	10.6	2.5
40 歳代	438	39.5	29.5	24.7	93.6	4.6▲	1.8
50 歳代	576	43.1	30.0	22.0	95.1	3.5▲	1.4
60 歳代	579	35.8	33.3	23.7	92.7	5.7	1.6
70 歳代	668	30.1▲	34.9	24.9	89.8	9.0	1.2

(2) 自分の介護に対する不安の内容

次に、不安意識がある人の具体的な不安の内容を捉えるため、以下のように尋ねた。

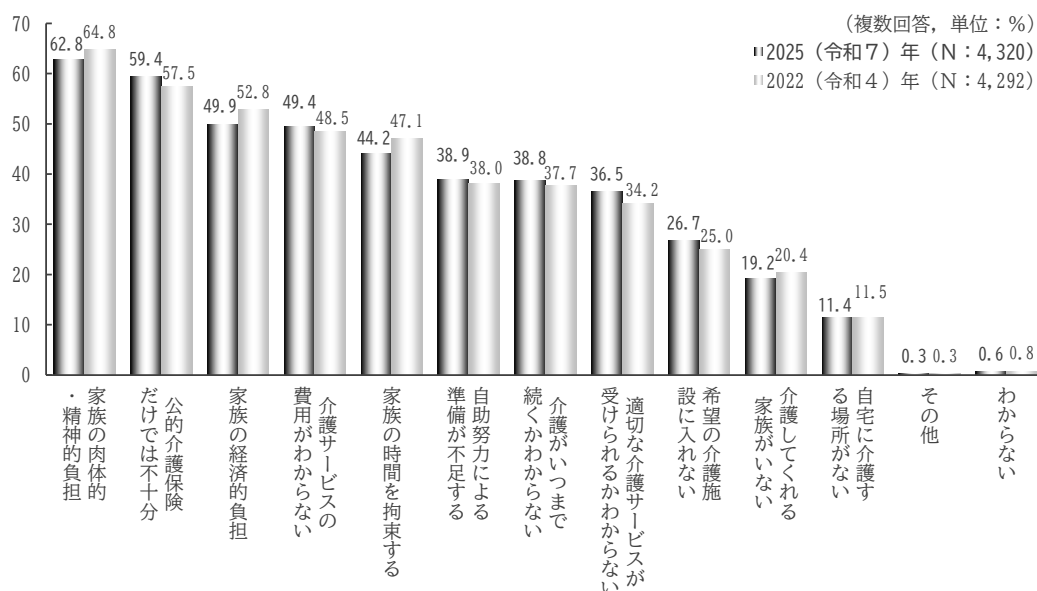
具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。

- (ア) 公的介護保険だけでは不十分なこと ……以下「公的介護保険だけでは不十分」
 (イ) 自助努力による経済的準備が不足すること ……以下「自助努力による準備が不足する」
 (ウ) 受けようとする介護サービスの費用がいくらかかるのかわからないこと
 ……以下「介護サービスの費用がわからない」
 (エ) 介護をしてくれる家族がいないこと ……以下「介護してくれる家族がいない」
 (オ) 家族に肉体的・精神的な負担をかけること ……以下「家族の肉体的・精神的負担」
 (カ) 家族に経済的な負担をかけること ……以下「家族の経済的負担」
 (キ) 家族の時間を拘束すること ……以下「家族の時間を拘束する」
 (ク) 自宅に介護をする場所がないこと ……以下「自宅に介護する場所がない」
 (ケ) 希望する介護施設に入れないこと ……以下「希望の介護施設に入れない」
 (コ) 適切な介護サービスが受けられるかどうかかわからないこと
 ……以下「適切な介護サービスが受けられるかわからない」
 (サ) 介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと
 ……以下「介護がいつまで続くかわからない」
 (シ) その他
 わからない

その結果、「家族の肉体的・精神的負担」が 62.8%と最も高く、以下「公的介護保険だけでは不十分」(59.4%)、「家族の経済的負担」(49.9%)、「介護サービスの費用がわからない」(49.4%)の順となっている。

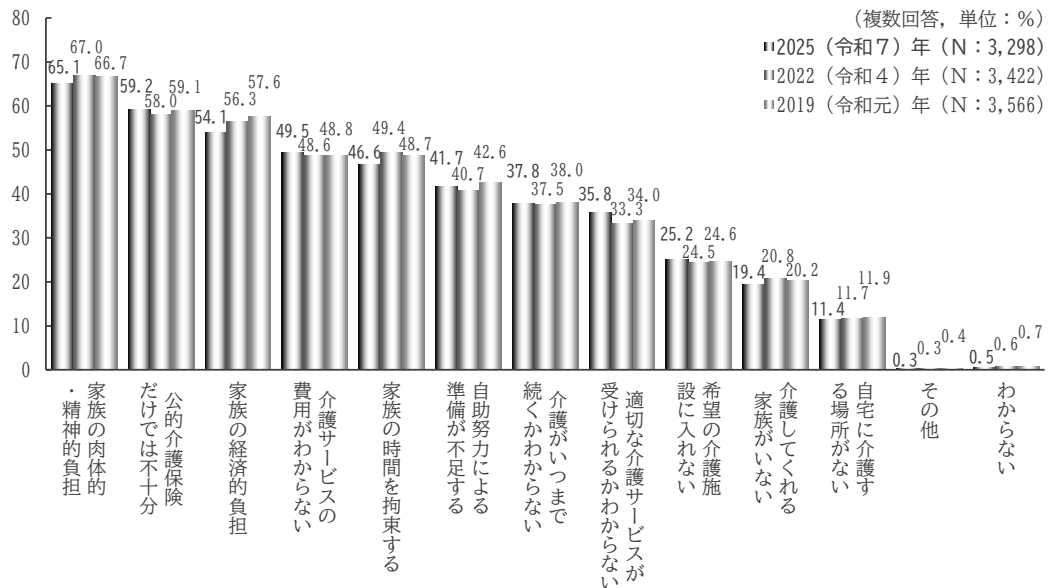
前回と比較すると、「家族の経済的負担」、「家族の時間を拘束する」がいずれも 2.9 ポイント減少し、「適切な介護サービスが受けられるかわからない」が 2.3 ポイント増加している。(図表 V-3)

<図表 V-3> 自分の介護に対する不安の内容



*集計対象は18～79歳

【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



*2019 (令和元) 年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「家族の肉体的・精神的負担」、「公的介護保険だけでは不十分」など8項目で、男性より女性の方が高く、特に「家族の肉体的・精神的負担」では女性が66.5%と男性(57.9%)を8.6ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「公的介護保険だけでは不十分」は女性50歳代で、「家族の経済的負担」は男性40歳代、女性30～50歳代で、それぞれ高くなっている。また、「自助努力による準備が不足する」は男性50歳代、女性40～50歳代で高くなっている。(図表V-4)

<図表 V-4> 自分の介護に対する不安の内容〔性・年齢別〕

(複数回答, 単位: %)

	N	家族の肉体的・精神的負担	公的介護保険だけでは不十分	家族の経済的負担	介護サービスの費用がわからない	家族の時間を拘束する	自助努力による準備が不足する	適切な介護サービスが受けられるかわからない	適切な介護サービスが受けられるかわからない	希望の介護施設に入れない	介護してくれる家族がいない	自宅に介護する場所がない	その他	わからない
男性	1,823	57.9	57.4	47.0	47.3	41.9	39.1	35.0	31.9	22.3	19.5	11.6	0.3	0.7
20歳代	139	58.3	45.3▲	53.2	42.4	46.0	41.7	30.9	22.3▲	13.7▲	23.7	12.2	0.0	0.7
30歳代	194	61.9	52.6	49.0	51.0	44.8	42.8	28.9	24.2▲	14.4▲	18.0	8.2	0.0	0.0
40歳代	319	64.3	56.4	58.0	50.2	50.5	42.9	35.1	28.5	21.3	21.0	10.0	0.0	0.3
50歳代	371	52.6▲	59.3	49.1	47.4	41.5	43.9	29.9▲	31.8	22.4	23.5	14.3	0.8	0.3
60歳代	355	61.4	60.6	43.4	47.9	39.4	36.1	40.6	38.6	25.9	17.7	11.3	0.0	1.1
70歳代	422	51.9▲	61.4	36.5▲	45.0	35.3▲	32.0▲	39.6	35.8	26.5	16.6	11.8	0.5	1.4
女性	2,497	66.5	60.9	52.1	50.9	45.9	38.7	41.5	39.9	30.0	19.0	11.3	0.3	0.6
20歳代	136	64.0	55.1	53.7	41.9▲	43.4	41.9	33.1▲	27.9▲	15.4▲	16.2	4.4▲	0.7	1.5
30歳代	245	68.2	58.0	59.2	51.0	49.0	43.3	37.1	31.0▲	21.6▲	19.2	11.8	0.0	1.2
40歳代	410	74.9	57.8	64.1	51.2	54.1	43.2	36.6▲	34.9▲	26.3	14.9▲	12.2	0.2	0.5
50歳代	548	70.3	66.1	57.5	50.9	47.3	45.1	44.2	42.3	32.3	22.1	12.8	0.4	0.4
60歳代	537	65.7	64.1	50.8	52.1	46.9	37.8	45.3	48.0	32.8	18.4	11.0	0.6	0.2
70歳代	600	58.3▲	59.2	36.5▲	52.0	37.3▲	28.2▲	43.5	41.0	35.2	20.0	11.2	0.2	0.7

(3) 親などを介護する場合の不安の有無

ここでは、将来親や親族などを介護する立場になった場合の不安の有無と程度を捉えるため、以下のように尋ねた。

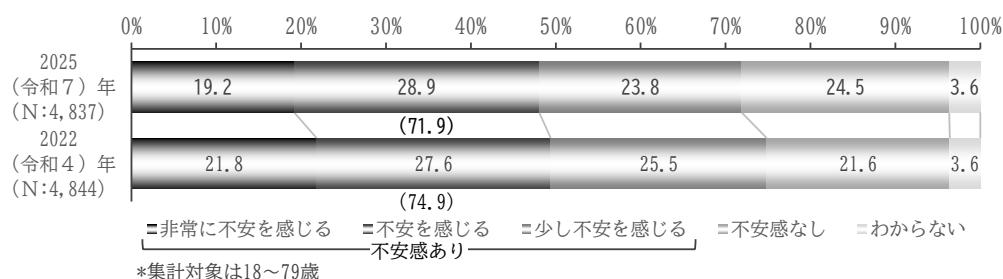
あなたは、将来ご自身が、親や親族などを介護する立場になった場合の生活について、どの程度不安を感じますか。

- (ア) 非常に不安を感じる
- (イ) 不安を感じる
- (ウ) 少し不安を感じる
- (エ) 不安を感じない……………以下「不安感なし」
- わからない

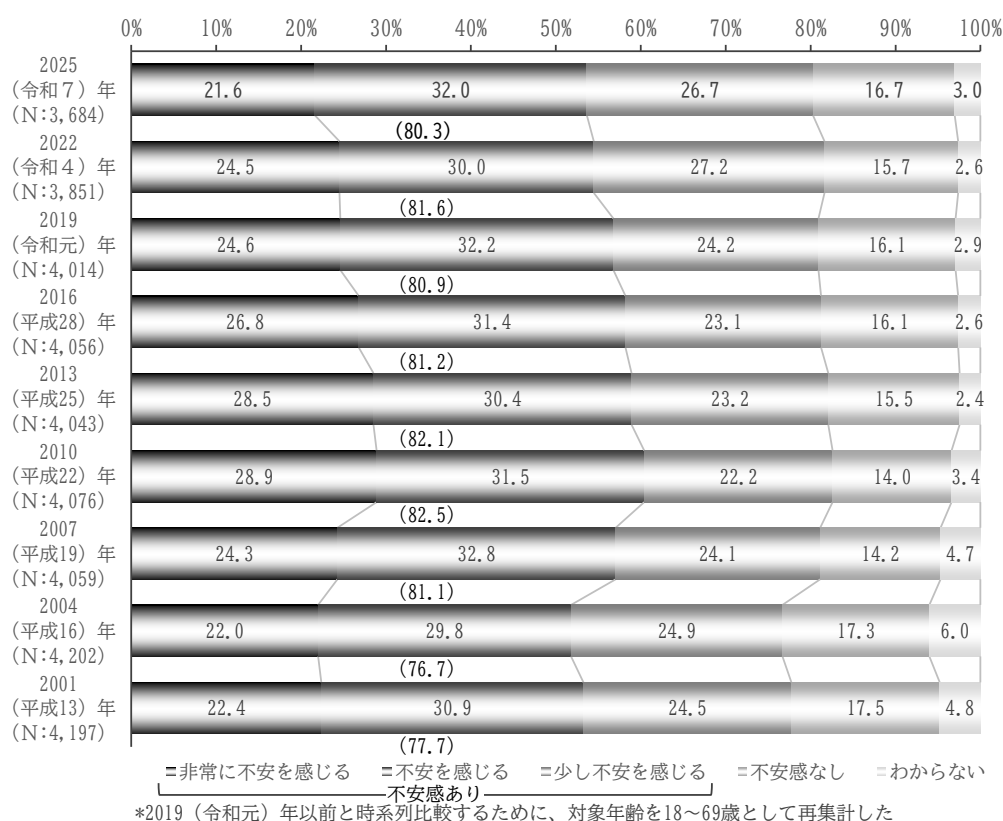
その結果、「不安感あり」（上記の選択肢で（ア）～（ウ）のいずれかに回答した人の合計）は71.9%となっており、「自分の介護に対し、『不安感あり』（177 ページ）と答えた割合（89.3%）を17.4ポイント下回っている。

前回と比較すると、「不安感あり」が3.0ポイント減少し、「不安感なし」が2.9ポイント増加している。（図表V-5）

<図表 V-5> 親などを介護する場合の不安の有無



【参考】時系列でみると、「非常に不安を感じる」は2010（平成22）年以降、減少傾向が続いている。



性別にみても、大きな差異はみられない。

性・年齢別にみると、「不安感あり」は男女とも20～50歳代で高くなっている。（図表V-6）

<図表 V-6> 親などを介護する場合の不安の有無〔性・年齢別〕

（単位：％）

	N	非常に不安 を感じる	不安を感じ る	少し不安を 感じる	不安感あり	不安感なし	わからない
男 性	2,101	17.9	29.6	23.2	70.7	25.3	4.0
20 歳代	181	20.4	38.7	22.7	81.8	9.4▲	8.8
30 歳代	225	22.2	39.6	25.3	87.1	9.3▲	3.6
40 歳代	363	22.0	30.9	30.6	83.5	13.2▲	3.3
50 歳代	406	23.9	33.5	25.1	82.5	15.8▲	1.7▲
60 歳代	404	10.9▲	28.7	24.8	64.4▲	32.2	3.5
70 歳代	485	13.0▲	17.7▲	13.8▲	44.5▲	50.3	5.2
女 性	2,736	20.1	28.3	24.3	72.8	23.9	3.4
20 歳代	165	23.0	33.9	26.7	83.6	13.9▲	2.4
30 歳代	282	25.2	35.5	28.7	89.4	9.2▲	1.4
40 歳代	438	26.7	32.4	31.7	90.9	8.4▲	0.7▲
50 歳代	576	27.3	29.5	28.1	84.9	13.4▲	1.7▲
60 歳代	579	16.1▲	28.8	22.1	67.0▲	27.8	5.2
70 歳代	668	10.2▲	19.6▲	15.6▲	45.4▲	48.7	6.0

(4) 親などを介護する場合の不安の内容

次に、不安意識がある人の具体的な不安の内容を捉えるため、以下のように尋ねた。

具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。

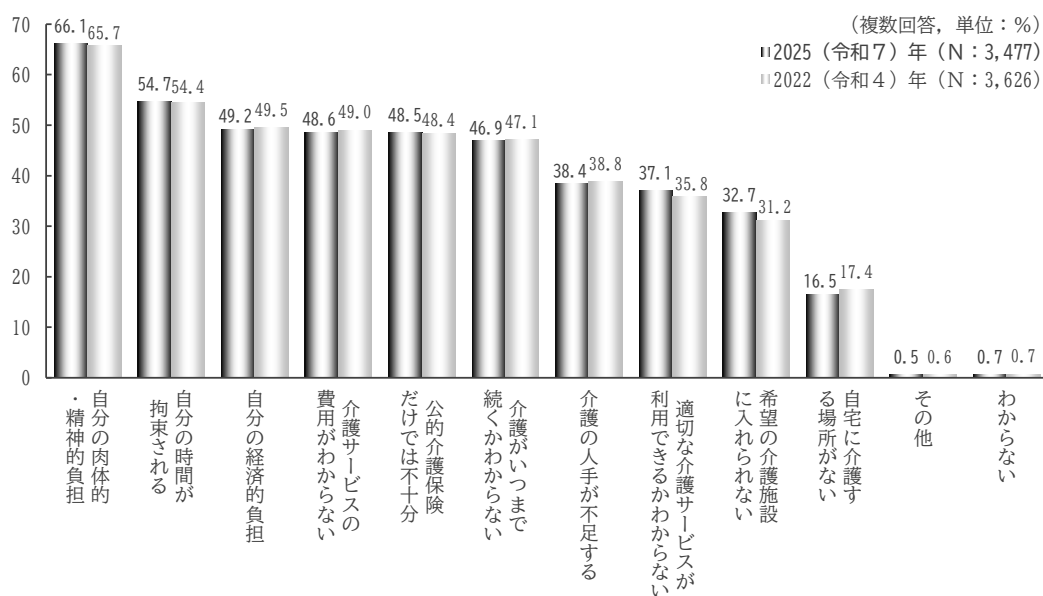
- (ア) 公的介護保険だけでは不十分なこと …… 以下「公的介護保険だけでは不十分」
 (イ) 利用しようとする介護サービスの費用がいくらかかるのかわからないこと
 …… 以下「介護サービスの費用がわからない」
 (ウ) 介護のための人手が不足すること …… 以下「介護の人手が不足する」
 (エ) 自分に肉体的・精神的な負担がかかること …… 以下「自分の肉体的・精神的負担」
 (オ) 自分に経済的な負担がかかること …… 以下「自分の経済的負担」
 (カ) 自分の時間が拘束されること …… 以下「自分の時間が拘束される」
 (キ) 自宅に介護をする場所がないこと …… 以下「自宅に介護する場所がない」
 (ク) 希望する介護施設に入れることができないこと …… 以下「希望の介護施設に入れられない」
 (ケ) 適切な介護サービスを利用できるかどうかかわからないこと
 …… 以下「適切な介護サービスが利用できるかわからない」
 (コ) 介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと
 …… 以下「介護がいつまで続くかわからない」
 (サ) その他
 わからない

その結果、「自分の肉体的・精神的負担」が 66.1%と最も高く、以下「自分の時間が拘束される」(54.7%)、「自分の経済的負担」(49.2%)、「介護サービスの費用がわからない」(48.6%) の順となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。

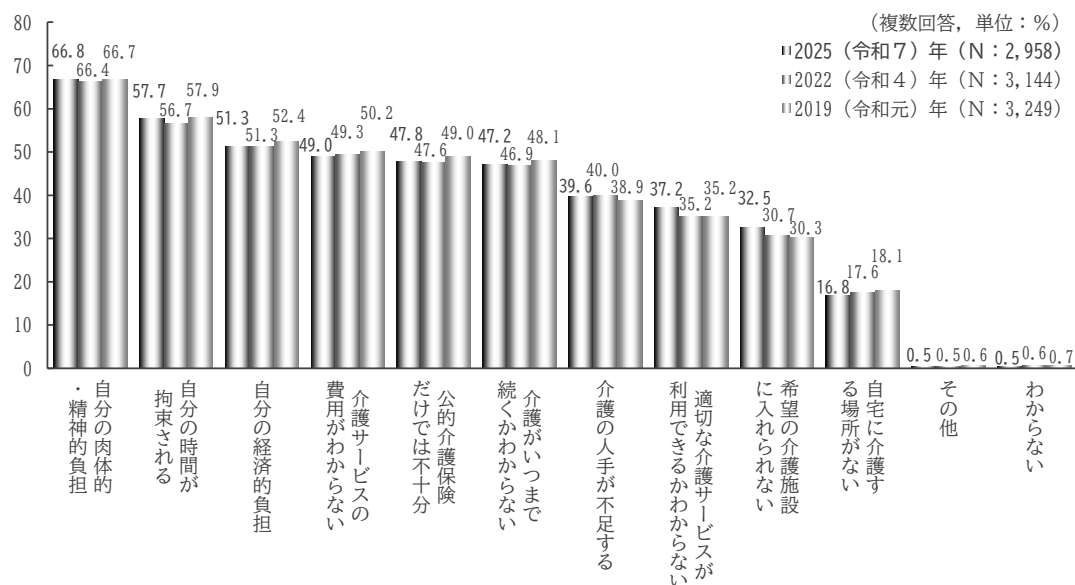
また、「自分の介護に対する不安の内容」(179 ページ) と比べると、「介護の人手が不足する(介護してくれる家族がいない)」、「介護がいつまで続くかわからない」、「自分の時間が拘束される(家族の時間を拘束する)」が特に高く、介護の担い手や時間的要素の不安意識が高くなる傾向がみられる。逆に「公的介護保険だけでは不十分」、「自分の経済的負担(家族の経済的負担)」では不安意識が低くなっている。(図表 V-7)

<図表 V-7> 親などを介護する場合の不安の内容



*集計対象は18～79歳

【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



*2019 (令和元) 年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「自分の肉体的・精神的負担」、「自分の時間が拘束される」、「介護がいつまで続くかわからない」等5項目で、女性が男性を上回っている。また「自分の経済的負担」で男性が高くなっている。

性・年齢別にみると、男性 40～50 歳代、女性 30～50 歳代で「自分の時間が拘束される」が高く、男性 40 歳代、女性 50 歳代では「自分の肉体的・精神的負担」も高い。また、男性 20 歳代、女性 40 歳代では「自分の経済的負担」が高くなっている。(図表V-8)

<図表 V-8> 親などを介護する場合の不安の内容〔性・年齢別〕

(複数回答, 単位: %)

	N	自分の肉体的・精神的負担	自分の時間が拘束される	自分の経済的負担	介護サービスの費用がわからない	公的介護保険だけでは不十分	介護がいつまで続くかわからない	介護の人手が不足する	適切な介護サービスが利用できるかわからない	希望の介護施設に入れない	自宅に介護する場所がない	その他	わからない
男性	1,486	61.0	52.2	51.5	48.7	49.4	42.7	38.7	34.0	29.7	17.0	0.7	0.9
20歳代	148	58.8	54.1	61.5	48.0	40.5▲	40.5	37.2	26.4▲	25.0	22.3	0.0	1.4
30歳代	196	60.2	58.2	50.0	50.0	40.8▲	37.2	35.7	25.5▲	22.4▲	17.3	1.5	1.5
40歳代	303	66.7	59.7	56.4	47.9	42.9▲	48.2	45.2	39.3	30.4	17.8	0.0	0.0
50歳代	335	61.2	58.8	55.2	52.5	57.3	39.1	46.3	34.6	31.0	17.0	0.9	0.6
60歳代	260	58.1	43.1▲	45.8▲	43.5	52.7	45.4	32.3▲	38.1	34.2	13.8	0.8	0.8
70歳代	216	58.8	34.3▲	39.8▲	48.6	57.4	45.8	30.6▲	34.3	32.9	16.2	1.4	1.9
女性	1,991	70.0	56.5	47.5	48.5	47.9	50.1	38.2	39.4	35.0	16.1	0.4	0.5
20歳代	138	70.3	51.4	50.0	53.6	41.3	49.3	31.9	36.2	26.8▲	13.8	0.0	1.4
30歳代	252	70.6	65.9	53.2	52.4	40.5▲	50.4	32.5▲	38.9	31.3	16.7	0.4	0.0
40歳代	398	69.8	62.1	52.8	49.5	48.0	49.5	40.5	37.4	32.2	19.1	0.5	0.3
50歳代	489	74.6	61.8	51.1	49.3	52.1	53.6	43.8	41.9	36.6	17.0	0.2	0.4
60歳代	388	68.3	53.6	42.5▲	44.8	49.7	51.8	41.0	41.8	41.2	15.2	0.8	0.5
70歳代	303	65.3	39.9▲	35.6▲	44.9	49.8	45.5	32.3▲	37.6	34.7	13.2	0.3	1.0

2. 自分の介護に対する意識

ここでは、自分自身が要介護状態になった場合に、在宅介護と施設介護のどちらを望んでいるのか、また、その選択理由について捉えている。

(1) 自分が介護してもらいたい場所

将来自分自身が要介護状態になった場合に、どのような場所で介護してもらいたいと考えているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

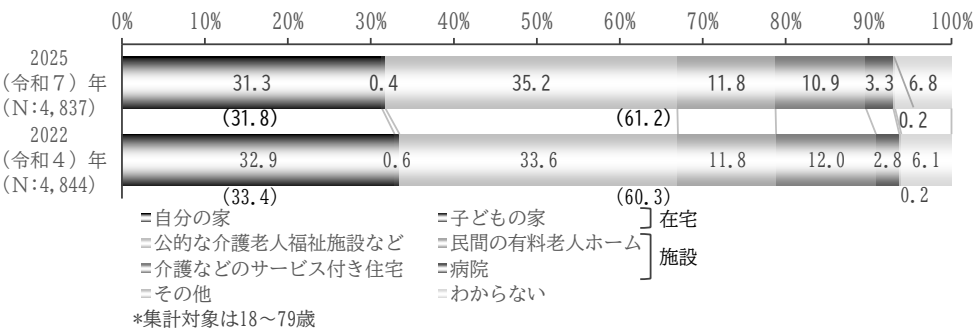
あなたは、仮にご自身が将来介護を受ける状態になった場合に、どのような場所で介護をしてもらいたいとお考えでしょうか。この中から1つだけお答えください。

- (ア) 自分の家
- (イ) 子どもの家
- (ウ) 国や県などの公的な介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設など
.....以下「公的な介護老人福祉施設など」
- (エ) 民間の有料老人ホーム
- (オ) 介護などのサービス付き住宅（シルバーマンションなど）
- (カ) 病 院
- (キ) その他
わからない

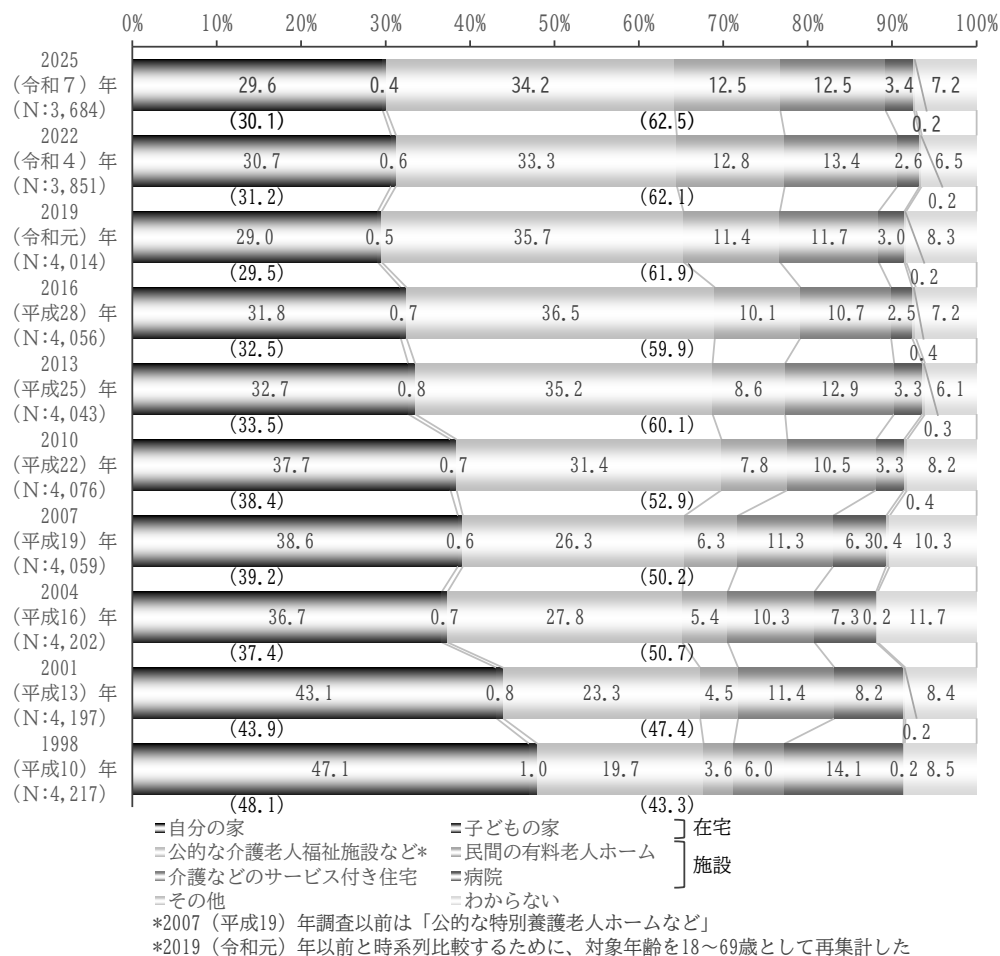
その結果、「公的な介護老人福祉施設など」が 35.2%と最も高く、次いで「自分の家」(31.3%)、「民間の有料老人ホーム」(11.8%)となっている。また、「在宅」は 31.8%、「施設」は 61.2%となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。(図表V-9)

<図表 V-9> 自分が介護してもらいたい場所



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「在宅」は男性の方が高く、「施設」は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「自分の家」、「公的な介護老人福祉施設など」は70歳代で、「民間の有料老人ホーム」は30歳代で、「介護などのサービス付き住宅」は30～50歳代で、それぞれ高くなっている。(図表V-10)

<図表 V-10> 自分が介護してもらいたい場所〔性別、年齢別〕

(単位：%)												
		N	在宅			施設					その他	わからない
			自分の家	子どもの家		福祉施設など	公的な介護老人ホーム	民間の有料老人ホーム	介護付き住宅	介護などのサービス		
全体		4,837	31.3	0.4	31.8	35.2	11.8	10.9	3.3	61.2	0.2	6.8
性別	男性	2,101	37.1	0.4	37.5	30.7▲	12.9	7.5▲	3.3	54.5▲	0.3	7.7
	女性	2,736	26.9▲	0.4	27.3▲	38.6	11.0▲	13.5	3.3	66.4	0.1	6.2▲
年齢	20歳代	346	28.6	0.3	28.9	31.8	14.5	11.0	2.0	59.2	0.6	11.3
	30歳代	507	26.8▲	0.8	27.6▲	27.4▲	19.1	15.2	2.8	64.5	0.4	7.5
	40歳代	801	29.0	0.1	29.1	33.8	12.9	13.9	4.1	64.7	0.0	6.2
	50歳代	982	30.4	0.4	30.9	37.1	9.7▲	12.9	2.9	62.5	0.4	6.2
	60歳代	983	31.1	0.5	31.6	36.7	10.6	10.5	3.9	61.6	0.1	6.6
	70歳代	1,153	36.7	0.4	37.1	38.4	9.8▲	5.9▲	3.0	57.2▲	0.1	5.6

本人職業別にみると、「在宅」は商工サービス業で、「施設」は大企業被用者で、それぞれ高くなっている。

金融資産別にみると、「公的な介護老人福祉施設など」は500万円未満の層で高く、「民間の有料老人ホーム」や「介護などのサービス付き住宅」は2,000万円以上の層で高くなっている。

住居種類別にみると、「在宅」は持家・ローンなしで、「施設」は借家で高くなっている。

市郡規模別にみると、「在宅」は小都市で高く、「施設」は中都市で高くなっている。(図表V-11)

<図表 V-11> 自分が介護してもらいたい場所〔本人職業別、金融資産別、住居種類別、市郡規模別〕

(単位：％)

		N	在宅			施設					その他	わからない
			自分の家	子どもの家		福祉施設など老人	公的な介護老人ホームの有料老人	民間の有料老人	介護付き住宅	病院		
全 体		4,837	31.3	0.4	31.8	35.2	11.8	10.9	3.3	61.2	0.2	6.8
本人職業	自 営 者	500	36.6	0.4	37.0	30.8▲	12.6	11.6	2.6	57.6	0.2	5.2
	農 林 漁 業	69	33.3	0.0	33.3	42.0	8.7	2.9▲	5.8	59.4	1.4	5.8
	商工サービス業	367	37.3	0.5	37.9	29.4▲	13.1	12.5	2.5	57.5	0.0	4.6
	常 雇 被 用 者	1,758	27.8▲	0.6	28.4▲	34.1	14.8	12.3	3.1	64.3	0.3	6.9
	公 務 員	192	22.9▲	0.5	23.4▲	35.9	15.6	14.6	1.0	67.2	1.0	8.3
	民間企業被用者	1,566	28.4▲	0.6	29.1▲	33.8	14.8	12.1	3.3	64.0	0.2	6.8
	小企業被用者	331	30.2	0.6	30.8	35.3	13.3	11.2	2.4	62.2	0.0	6.9
	中企業被用者	773	28.3	0.6	29.0	34.5	13.3	11.5	3.5	62.9	0.3	7.9
	大企業被用者	408	27.9	0.7	28.7	29.7▲	18.4	14.2	3.9	66.2	0.2	4.9
	非 正 規 社 員	931	29.6	0.4	30.1	39.3	8.2▲	11.3	3.9	62.6	0.1	7.2
無 職	1,474	34.8	0.3	35.1	36.4	9.7▲	9.0▲	3.5	58.5▲	0.2	6.2	
金融資産	100 万 円 未 満	406	31.0	0.5	31.5	39.9	5.9▲	8.9	5.2	59.9	0.5	8.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	739	32.3	0.1	32.5	39.8	11.1	9.3	3.1	63.3	0.5	3.7▲
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	416	31.7	1.0	32.7	37.5	11.1	13.2	1.4▲	63.2	0.2	3.8▲
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	337	33.8	0.0	33.8	35.6	13.4	12.5	2.4	63.8	0.0	2.4▲
	2,000 万 円 以 上	449	31.8	0.2	32.1	27.6▲	18.5	14.3	1.6▲	61.9	0.2	5.8
住居種類	持 家	3,857	32.5	0.4	33.0	34.6	12.3	10.8	2.8▲	60.6	0.2	6.3▲
	持家・ローンあり	1,475	31.3	0.4	31.7	33.9	14.6	11.7	2.5▲	62.7	0.3	5.4▲
	持家・ローンなし	1,817	34.3	0.4	34.7	35.2	10.8	9.9	2.9	58.8▲	0.1	6.4
	持家・夫婦以外名義	565	30.1	0.5	30.6	34.5	11.3	11.7	3.2	60.7	0.0	8.7
	借 家	918	26.9▲	0.4	27.3▲	38.6	9.5▲	10.9	5.2	64.2	0.4	8.1
	賃 貸 住 宅	875	27.4▲	0.5	27.9▲	39.1	9.3▲	10.5	5.3	64.1	0.5	7.5
	社 宅	43	16.3▲	0.0	16.3▲	27.9	14.0	18.6	4.7	65.1	0.0	18.6
市郡規模	大 都 市	1,487	32.0	0.4	32.4	34.4	12.0	11.8	3.6	61.7	0.3	5.6▲
	中 都 市	1,954	29.0▲	0.5	29.5▲	35.8	12.8	11.3	3.3	63.2	0.2	7.1
	小 都 市	998	34.3	0.3	34.6	35.9	9.6▲	9.2	2.9	57.6▲	0.3	7.5
	郡 部	398	32.7	0.5	33.2	33.7	12.3	9.5	3.0	58.5	0.0	8.3

3. 公的介護保険に対する意識

本節では、公的介護保険制度に対する評価などを捉え、人々の意識を明らかにしている。

(1) 公的介護保険に対する考え方

自分が将来要介護状態になった場合に、介護費用が公的介護保険でまかなえると考えているのかどうかを捉えるため、以下のように尋ねた。

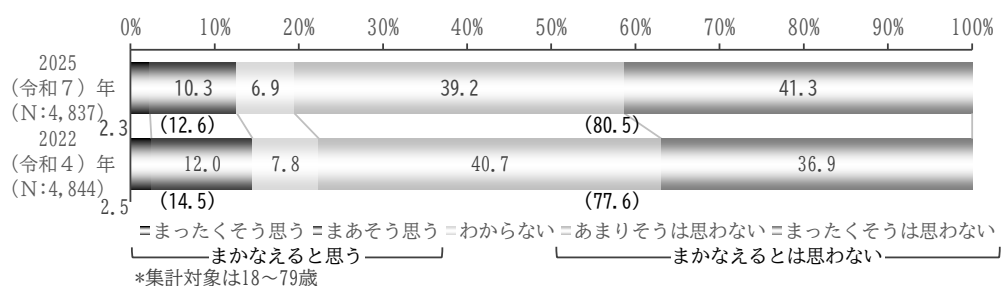
自分が将来寝たきりや認知症になった場合の費用は、公的介護保険で大部分まかなえる

- (ア) まったくそう思う
- (イ) まあそう思う
- (ウ) あまりそうは思わない
- (エ) まったくそうは思わない
わからない

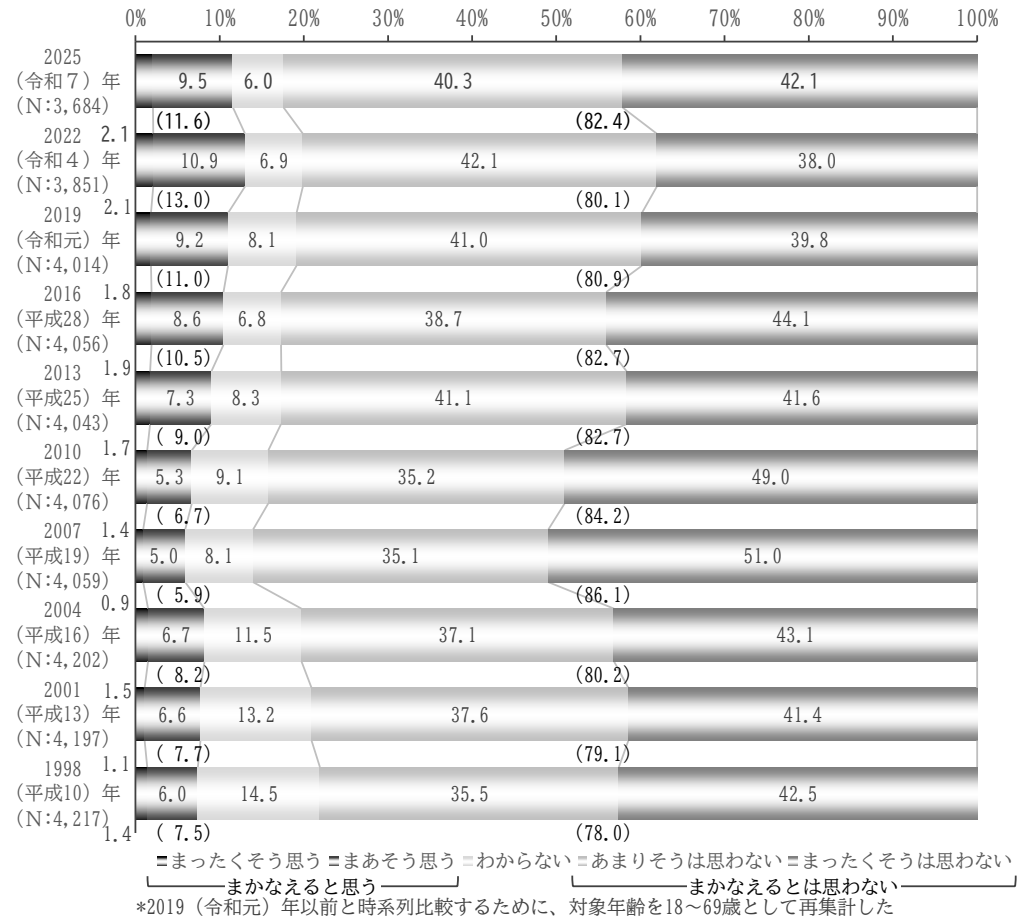
その結果、「まかなえると思う」（“まったくそう思う”と“まあそう思う”と回答した人の合計）は 12.6%、「まかなえるとは思わない」（“あまりそうは思わない”と“まったくそうは思わない”と回答した人の合計）は 80.5%となっており、8割以上の人々が公的介護保険だけではまかなえないと考えている。

前回と比較すると、「まかなえるとは思わない」が 2.9 ポイント増加し、「まかなえると思う」が 1.9 ポイント減少している。（図表 V-12）

<図表 V-12> 公的介護保険に対する考え方



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「まかなえるとは思わない」は女性（83.1％）が男性（77.1％）を 6.0 ポイント上回り、「まかなえると思う」は男性（15.1％）が女性（10.7％）を 4.4 ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「まかなえるとは思わない」は男女とも 30～50 歳代で高くなっている。（図表V-13）

<図表 V-13> 公的介護保険に対する考え方〔性・年齢別〕

(単位：％)								
	N	まったく そう思う	まあ そう思う	まかなえる と思う	わからない	まかなえる とは思 わない	あまり そうは 思わない	まったく そうは 思わない
男 性	2,101	3.0	12.1	15.1	7.8	77.1	40.2	36.9
20 歳代	181	2.2	16.6	18.8	8.8	72.4	43.6	28.7▲
30 歳代	225	0.4▲	9.8	10.2▲	5.3	84.4	47.1	37.3
40 歳代	363	3.0	10.5	13.5	4.7▲	81.8	43.0	38.8
50 歳代	406	3.0	10.3	13.3	4.9▲	81.8	41.6	40.1
60 歳代	404	3.5	12.4	15.8	7.9	76.2	39.1	37.1
70 歳代	485	3.7	13.8	17.5	12.6	69.9▲	33.6▲	36.3
女 性	2,736	1.8	8.9	10.7	6.1	83.1	38.4	44.7
20 歳代	165	1.8	13.3	15.2	13.3	71.5▲	38.2	33.3▲
30 歳代	282	1.4	5.0▲	6.4▲	5.0	88.7	42.6	46.1
40 歳代	438	0.5▲	8.0	8.4	4.3	87.2	39.0	48.2
50 歳代	576	2.3	6.6▲	8.9	3.8▲	87.3	36.3	51.0
60 歳代	579	1.7	8.6	10.4	6.0	83.6	39.0	44.6
70 歳代	668	2.7	12.1	14.8	7.3	77.8▲	37.3	40.6▲

(2) 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か

自分自身が要介護状態になった場合の準備は、公的保障の充実を志向しているのか、自助努力を志向しているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

ここに、自分が寝たきりや認知症になり、介護が必要になったときの備えについて、A、B 2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、B どちらの考え方に近いでしょうか。

A：自助努力で準備していくよりは、今より高い保険料や税金を払ってでも公的介護保険を充実してもらいたい

B：公的介護保険の充実のために今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい

(ア) Aに近い

(イ) どちらかといえばAに近い

(ウ) どちらかといえばBに近い

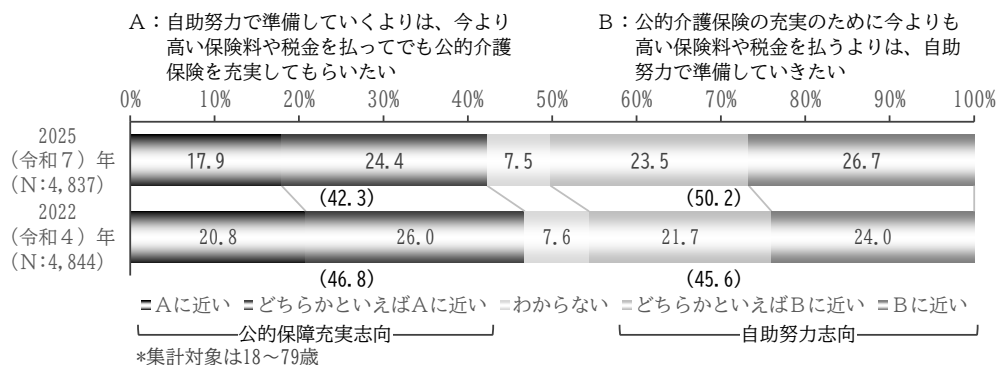
(エ) Bに近い

わからない

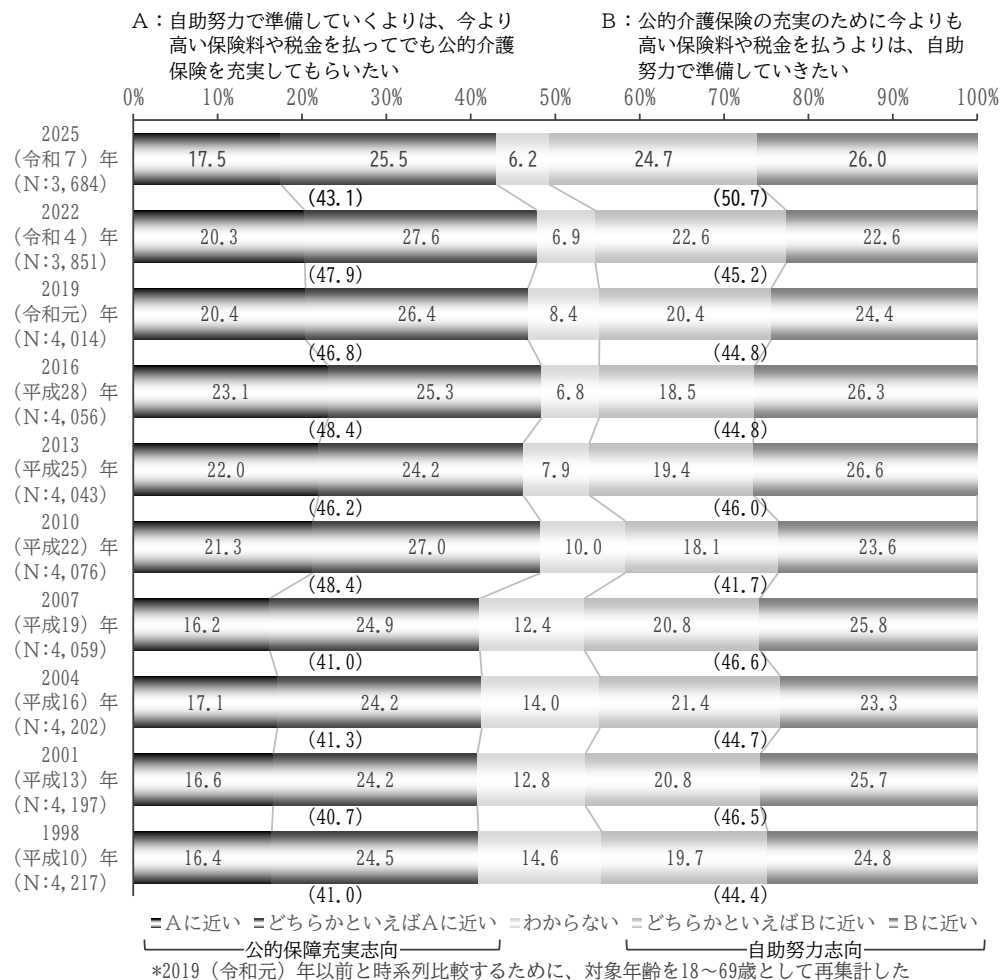
その結果、「公的保障充実志向」（「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」と回答した人の合計）は42.3%、「自助努力志向」（「どちらかといえばBに近い」と「Bに近い」と回答した人の合計）は50.2%と「自助努力志向」が多くなっている。

前回と比較すると、「自助努力志向」が4.6ポイント増加し、「公的保障充実志向」が4.5ポイント減少している。（図表V-14）

<図表 V-14> 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「公的保障充実志向」は男性で 44.0%と女性（41.0%）を 3.0 ポイント上回って高くなっている。

性・年齢別にみると、「公的保障充実志向」は女性 50 歳代で、「自助努力志向」は男性 40 歳代、女性 30 歳代で高くなっている。（図表 V-15）

<図表 V-15> 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か〔性・年齢別〕

（単位：％）

	N	Aに近い	どちらかといえばAに近い	公的保障充実志向	わからない	自助努力志向	どちらかといえばBに近い	Bに近い
男 性	2,101	18.5	25.5	44.0	6.4	49.6	22.4	27.3
20 歳代	181	18.2	30.9	49.2	6.1	44.8	19.9	24.9
30 歳代	225	15.6	25.8	41.3	6.7	52.0	29.8	22.2
40 歳代	363	16.5	25.1	41.6	2.5▲	55.9	25.1	30.9
50 歳代	406	18.5	27.1	45.6	5.9	48.5	21.9	26.6
60 歳代	404	20.3	23.5	43.8	5.2	51.0	22.0	29.0
70 歳代	485	19.6	23.1	42.7	10.1	47.2	19.0▲	28.2
女 性	2,736	17.5	23.5	41.0	8.4	50.6	24.4	26.2
20 歳代	165	11.5▲	35.8	47.3	5.5	47.3	29.7	17.6▲
30 歳代	282	16.3	20.9	37.2	6.4	56.4	31.2	25.2
40 歳代	438	18.3	23.3	41.6	5.7▲	52.7	28.5	24.2
50 歳代	576	17.0	27.8	44.8	6.3▲	49.0	22.6	26.4
60 歳代	579	17.6	22.5	40.1	9.3	50.6	23.5	27.1
70 歳代	668	19.0	18.9▲	37.9	12.6	49.6	20.2▲	29.3

4. 介護保障に対する私的準備状況

自分自身が要介護状態になった場合に備えて、どのような手段で経済的な準備をしているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたのご家庭では、あなたご自身が介護を受ける状態になった場合に備えて、現在経済的な準備をしていますか。この中に準備しているものがあれば、いくつでもお答えください。

- (ア) 民間の生命保険会社や郵便局、J A（農協）などで取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「生命保険」
 (イ) 介護費用保険などの損害保険……………以下「損害保険」
 (ウ) 預貯金
 (エ) 株式・債券などの有価証券……………以下「有価証券」
 (オ) その他
 (カ) 特別な準備はしていない……………以下「準備していない」
 わからない

その結果、「準備している」（上記の選択肢で（ア）～（オ）のいずれかに回答した人）は 57.3%、「準備していない」は 39.3%と、6 割近くが何らかの準備をしている。他の保障領域の「準備している」〔医療保障（83.9%）、老後保障（70.8%）、死亡保障（74.8%）〕と比較すると、準備割合は低く、最も準備が進んでいない保障領域といえる。

具体的な準備手段をみると、「預貯金」が 44.0%と最も高く、次いで「生命保険」（28.4%）となっている。

前回と比較すると、「預貯金」が 3.4 ポイント、「有価証券」が 2.4 ポイント増加した結果、「準備している」も 3.8 ポイント増加している。（図表 V-16）

<図表 V-16> 介護保障に対する私的準備状況

（複数回答、単位：％）

	N	生命 保険	損害 保険	預貯 金	有価 証券	その他	準備 して いる	準備 して いない	わ か ら ない
2025 （令和 7）年	4,837	28.4	8.4	44.0	9.5	0.3	57.3	39.3	3.3
2022 （令和 4）年	4,844	28.0	8.7	40.6	7.1	0.2	53.5	43.0	3.4

*集計対象は18～79歳

【参考】時系列でみると、2010（平成22）年以降、「準備している」の増加傾向が続いている。

（複数回答, 単位：％）

	N	生命 保険	損害 保険	預貯 金	有価 証券	その他	準備 して いる	準備 して いない	わ か ら な い
2025 （令和7）年	3,684	29.5	8.6	40.4	9.2	0.2	55.1	41.6	3.3
2022 （令和4）年	3,851	28.2	8.6	37.1	6.9	0.2	51.0	45.5	3.5
2019 （令和元）年	4,014	28.9	7.0	34.3	4.5	0.4	48.7	47.9	3.4
2016 （平成28）年	4,056	27.0	6.5	35.2	4.4	0.5	47.8	49.2	3.1
2013 （平成25）年	4,043	22.7	5.4	30.2	3.9	0.4	42.1	55.4	2.5
2010 （平成22）年	4,076	21.4	4.6	30.8	3.9	0.4	41.0	55.3	3.6
2007 （平成19）年	4,059	23.7	5.0	29.5	4.1	0.2	41.2	55.9	2.9
2004 （平成16）年	4,202	22.6	5.1	28.1	3.0	0.9	39.2	56.3	4.5
2001 （平成13）年	4,197	24.2	5.4	29.9	3.8	0.4	40.8	54.9	4.3
1998 （平成10）年	4,217	26.5	4.2	31.3	3.1	0.5	42.9	53.6	3.5

*2019（令和元）年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「損害保険」と「有価証券」は男性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、「準備している」は男女とも概ね高齢層ほど高くなっている。また、具体的な準備手段では、「生命保険」は男性40～60歳代、女性40歳代および60歳代で高く、「有価証券」は男性60歳代、女性70歳代で高い。また、「預貯金」、は男女とも概ね高齢層ほど高くなっている。（図表V-17）

<図表 V-17> 介護保障に対する私的準備状況〔性・年齢別〕

（複数回答, 単位：％）

	N	生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	準備して いる	準備して いない	わからない
男 性	2,101	27.8	9.7	43.3	12.8	0.4	56.5	39.7	3.7
20 歳代	181	14.4▲	5.0▲	24.9▲	6.1▲	0.0	34.3▲	58.6	7.2
30 歳代	225	20.0▲	4.4▲	32.0▲	13.8	0.0	44.0▲	53.3	2.7
40 歳代	363	33.6	11.8	38.6▲	14.6	0.6	56.5	41.6	1.9▲
50 歳代	406	34.2	11.3	40.4	11.6	0.2	58.4	37.7	3.9
60 歳代	404	33.4	13.6	56.4	17.1	0.5	69.8	28.7▲	1.5▲
70 歳代	485	23.9▲	8.2	53.4	12.0	0.6	62.1	33.0▲	4.9
女 性	2,736	28.9	7.5	44.5	7.0	0.2	57.9	39.0	3.0
20 歳代	165	12.7▲	3.0▲	18.8▲	1.8▲	0.6	26.7▲	67.3	6.1
30 歳代	282	27.3	6.0	37.6▲	6.4	0.0	51.8▲	44.7	3.5
40 歳代	438	33.1	7.1	32.6▲	3.9▲	0.0	49.8▲	47.3	3.0
50 歳代	576	31.6	8.3	42.2	8.0	0.2	58.9	38.7	2.4
60 歳代	579	33.5	8.8	53.9	7.6	0.2	68.0	29.7▲	2.2
70 歳代	668	25.9▲	7.9	56.9	9.4	0.4	66.2	31.3▲	2.5

性・本人職業別にみると、「準備している」は男性の商工サービス業、公務員、大企業被用者、女性の公務員、無職で高くなっている。具体的な準備手段では、「生命保険」は男性の自営者、公務員、大企業被用者、女性の商工サービス業、常雇被用者で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「準備している」は男女とも概ね高年収層ほど高くなっている。（図表V-18）

<図表 V-18> 介護保障に対する私的準備状況〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

（複数回答，単位：％）

		N	生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	準備している	準備していない	わからない
男性		2,101	27.8	9.7	43.3	12.8	0.4	56.5	39.7	3.7
本人職業別	自営者	310	36.5	12.9	49.0	12.6	1.3	63.9	32.6▲	3.5
	農林漁業	44	47.7	6.8	36.4	4.5	2.3	59.1	31.8	9.1
	商工サービス業	226	37.6	14.2	51.3	13.7	1.3	65.0	32.7▲	2.2
	常雇被用者	1,086	30.8	10.7	40.9▲	13.9	0.1▲	57.0	40.2	2.8▲
	公務員	107	39.3	14.0	46.7	14.0	0.0	66.4	29.9▲	3.7
	民間企業被用者	979	29.8	10.3	40.2▲	13.9	0.1	56.0	41.4	2.7▲
	小企業被用者	192	27.6	8.3	33.3▲	7.3▲	0.0	50.0	46.4	3.6
	中企業被用者	491	28.5	10.0	40.5	12.0	0.2	55.0	42.6	2.4
	大企業被用者	273	34.8	12.8	45.4	22.7	0.0	63.0	35.5	1.5▲
	非正規社員	166	25.3	9.0	42.2	8.4	0.0	53.0	44.6	2.4
	無職	447	19.2▲	6.5▲	51.7	13.4	0.7	59.3	36.2	4.5
	収入はない	93	11.8▲	3.2▲	17.2▲	3.2▲	0.0	26.9▲	63.4	9.7
本人年収別	300万円未満	631	20.3▲	7.4▲	41.0	7.6▲	0.5	50.7▲	45.2	4.1
	300～500万円未満	472	28.4	8.5	42.8	11.4	0.4	57.2	40.5	2.3
	500～700万円未満	335	37.9	12.2	47.2	14.0	0.3	63.6	35.5	0.9▲
	700～1,000万円未満	187	36.4	18.2	47.6	20.3	0.0	67.4	30.5▲	2.1
	1,000万円以上	89	42.7	19.1	60.7	46.1	1.1	78.7	20.2▲	1.1
女性		2,736	28.9	7.5	44.5	7.0	0.2	57.9	39.0	3.0
本人職業別	自営者	190	36.3	10.5	42.1	7.4	0.0	62.6	33.7	3.7
	農林漁業	25	24.0	8.0	48.0	0.0	0.0	60.0	36.0	4.0
	商工サービス業	141	39.0	11.3	41.8	8.5	0.0	63.1	32.6	4.3
	常雇被用者	672	34.5	8.2	41.7	7.1	0.1	58.0	39.6	2.4
	公務員	85	42.4	16.5	51.8	9.4	0.0	72.9	25.9▲	1.2
	民間企業被用者	587	33.4	7.0	40.2▲	6.8	0.2	55.9	41.6	2.6
	小企業被用者	139	35.3	5.0	35.3▲	7.2	0.0	54.7	42.4	2.9
	中企業被用者	282	31.6	6.7	39.4	4.6	0.0	53.5	44.0	2.5
	大企業被用者	135	35.6	8.9	44.4	10.4	0.7	59.3	38.5	2.2
	非正規社員	765	28.0	7.5	41.2▲	5.1▲	0.3	55.3	41.4	3.3
	無職	1,027	26.0▲	6.7	50.7	8.6	0.3	61.2	36.1▲	2.6
	収入はない	400	27.8	6.3	40.8	5.5	0.3	53.8	42.0	4.3
本人年収別	100万円未満	615	21.8▲	5.5▲	44.7	5.7	0.2	54.0▲	42.8	3.3
	100～300万円未満	923	30.9	8.0	44.5	8.0	0.1	59.2	38.6	2.3
	300～500万円未満	299	34.4	10.0	47.2	9.4	0.0	61.9	36.5	1.7
	500万円以上	126	50.0	13.5	53.2	18.3	0.8	76.2	22.2▲	1.6

5. 介護保障としての生命保険（介護保険・介護特約）

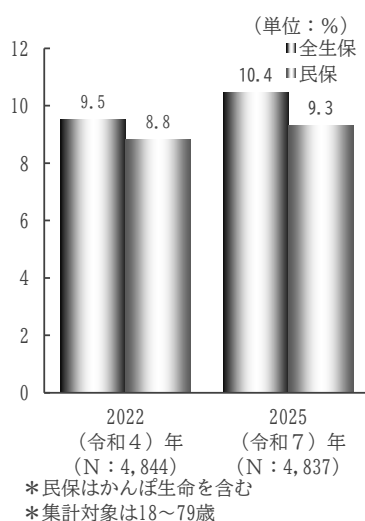
介護保障の準備割合は他の保障領域（医療保障、老後保障、死亡保障）と比較すると低いが、具体的な準備手段として「生命保険」は「預貯金」に次いで利用されている。

本節では、介護保障としての生命保険という観点から介護保険・介護特約の加入率をみていく。

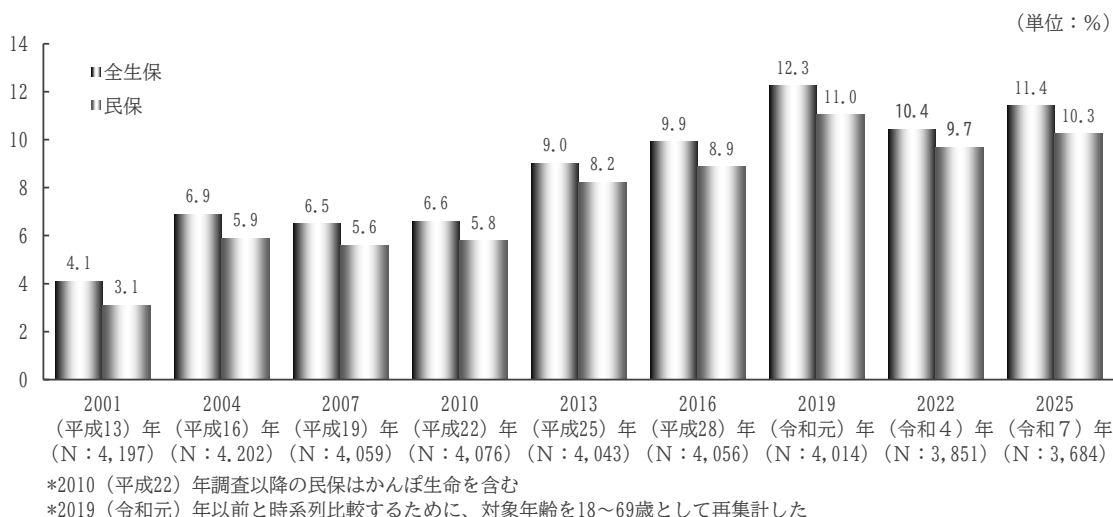
民間の生命保険会社や郵便局、J A（農協）、県民共済・生協等で取り扱っている介護保険・介護特約の加入率は、10.4%となっている。また、民保では9.3%となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。（図表V-19）

<図表 V-19> 介護保険・介護特約の加入率



【参考】時系列でも、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、介護保険・介護特約の加入率は全生保が男性で 11.0%、女性で 10.0%となっている。民保は男性で 9.9%、女性で 8.9%となっている。

性・年齢別にみると、全生保、民保ともに男性 40～50 歳代、女性 50 歳代で高くなっている。(図表 V-20)

なお、その他の属性別のデータについては巻末の「付属統計資料」に掲載。

<図表 V-20> 介護保険・介護特約の加入率〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	全生保	民保
男 性	2,101	11.0	9.9
20 歳代	181	4.4▲	3.9▲
30 歳代	225	8.9	7.6
40 歳代	363	15.4	13.8
50 歳代	406	14.8	13.3
60 歳代	404	11.9	10.6
70 歳代	485	8.0▲	7.4▲
女 性	2,736	10.0	8.9
20 歳代	165	4.8▲	4.8
30 歳代	282	10.6	10.3
40 歳代	438	9.4	9.1
50 歳代	576	14.9	12.7
60 歳代	579	11.1	9.8
70 歳代	668	6.7▲	5.4▲

* 民保はかんぽ生命を含む

6. 介護保障に対する充足感

介護に対する私的な経済的準備に公的介護保険を加えた、介護資金準備の充足感を捉えるため、以下のように尋ねた。

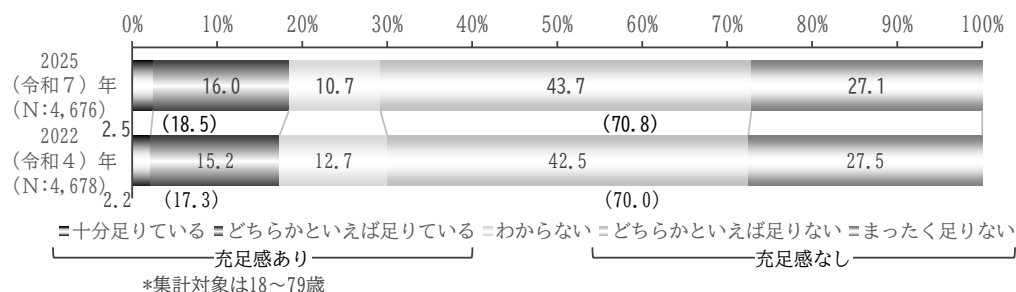
現在の備えに、公的介護保険をあわせると、介護される状態になった場合の準備は十分だとお考えですか。

- (ア) 十分足りている
- (イ) どちらかといえば足りている
- (ウ) どちらかといえば足りない
- (エ) まったく足りない
- わからない

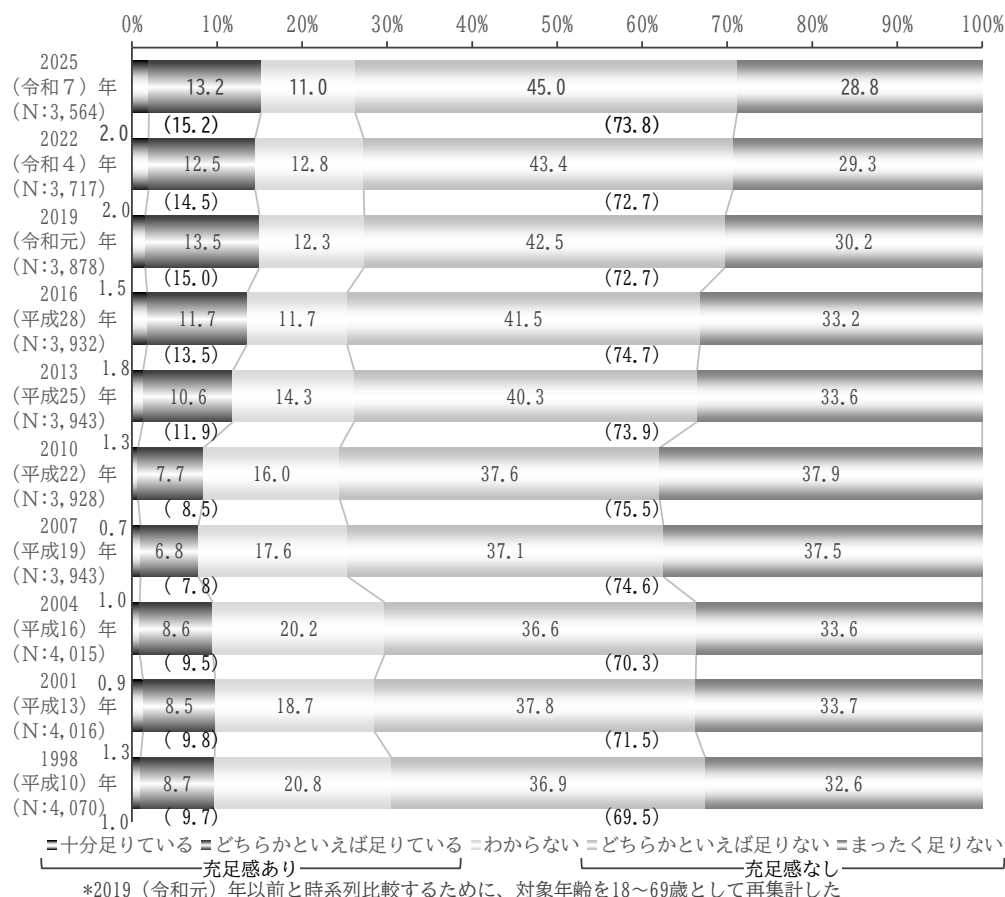
その結果、「充足感あり」（「十分足りている」と「どちらかといえば足りている」と回答した人の合計）は 18.5%、「充足感なし」（「どちらかといえば足りない」と「まったく足りない」と回答した人の合計）は 70.8%と、7 割以上の人が「充足感なし」と感じている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。（図表 V-21）

<図表 V-21> 介護保障に対する充足感



【参考】時系列でも、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「充足感なし」は女性（72.7%）が男性（68.4%）を4.3ポイント上回り、「充足感あり」は男性（20.9%）が女性（16.6%）を4.3ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「充足感なし」は男性では30歳代と50歳代、女性では30～50歳代で高くなっている。一方、「充足感あり」は男女とも概ね高年齢層ほど高くなっている。（図表V-22）

＜図表 V-22＞ 介護保障に対する充足感〔性・年齢別〕

（単位：％）

	N	十分 足りている	どちらかと いえば 足りている	充足感あり	わからない	充足感なし	どちらかと いえば 足りない	まったく 足りない
男 性	2,023	3.6	17.3	20.9	10.7	68.4	43.0	25.4
20 歳代	168	1.2	6.5▲	7.7▲	17.9	74.4	39.9	34.5
30 歳代	219	2.7	7.8▲	10.5▲	13.2	76.3	41.1	35.2
40 歳代	356	1.4▲	17.4	18.8	10.7	70.5	45.2	25.3
50 歳代	390	3.3	13.8▲	17.2▲	8.5	74.4	50.0	24.4
60 歳代	398	6.0	21.9	27.9	9.5	62.6▲	44.5	18.1▲
70 歳代	461	5.0	25.4	30.4	8.9	60.7▲	37.7▲	23.0
女 性	2,653	1.6	15.0	16.6	10.7	72.7	44.2	28.5
20 歳代	155	0.6	8.4▲	9.0▲	18.7	72.3	40.6	31.6
30 歳代	272	0.7	7.4▲	8.1▲	11.4	80.5	43.8	36.8
40 歳代	425	0.2▲	7.8▲	8.0▲	11.1	80.9	46.4	34.6
50 歳代	562	0.7	11.7▲	12.5▲	7.3▲	80.2	47.7	32.6
60 歳代	566	2.3	18.6	20.8	10.6	68.6▲	45.2	23.3▲
70 歳代	651	3.4	24.4	27.8	10.4	61.8▲	40.7▲	21.0▲

性・本人職業別にみると、「充足感なし」は男性では小企業被用者、中企業被用者、女性では民間企業被用者、非正規社員で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「充足感あり」は男性では 700 万円以上の層で、女性では 500 万円以上の層で、それぞれ高くなっている。（図表V－23）

<図表 V-23> 介護保障に対する充足感〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

（単位：％）

（単位：％）

		N				わからない	充足感なし	どちらかといえ ば足りない	まったく 足りない
			十分 足りている	どちらかといえ ば足りている	充足感あり				
男	性	2,023	3.6	17.3	20.9	10.7	68.4	43.0	25.4
本人職業	自 営 者	299	5.4	19.1	24.4	9.0	66.6	47.8	18.7▲
	農 林 漁 業	40	5.0	22.5	27.5	17.5	55.0	45.0	10.0▲
	商工サービス業	221	5.9	17.6	23.5	7.7	68.8	48.9	19.9▲
	常 雇 被 用 者	1,056	3.0	15.2▲	18.3▲	10.7	71.0	45.5	25.5
	公 務 員	103	5.8	25.2	31.1	9.7	59.2▲	48.5	10.7▲
	民間企業被用者	953	2.7▲	14.2▲	16.9▲	10.8	72.3	45.2	27.1
	小企業被用者	185	1.1	10.3▲	11.4▲	13.0	75.7	45.9	29.7
	中企業被用者	479	2.7	12.5▲	15.2▲	10.6	74.1	44.1	30.1
	大企業被用者	269	3.7	20.1	23.8	9.3	66.9	46.8	20.1▲
	非 正 規 社 員	162	3.1	11.1▲	14.2▲	11.7	74.1	41.4	32.7
	無 職	427	4.4	23.7	28.1	9.6	62.3▲	37.2▲	25.1
本人年収	収 入 は な い	84	4.8	10.7	15.5	15.5	69.0	26.2▲	42.9
	300 万 円 未 満	605	2.8	14.5▲	17.4▲	11.6	71.1	42.6	28.4
	300～500万円未満	461	4.1	15.6	19.7	9.5	70.7	42.7	28.0
	500～700万円未満	332	3.3	15.7	19.0	8.1	72.9	49.4	23.5
	700～1,000万円未満	183	3.3	24.0	27.3	7.7	65.0	48.1	16.9▲
	1,000 万 円 以 上	88	10.2	31.8	42.0	8.0	50.0▲	38.6	11.4▲
女	性	2,653	1.6	15.0	16.6	10.7	72.7	44.2	28.5
本人職業	自 営 者	183	1.6	15.8	17.5	9.3	73.2	44.3	29.0
	農 林 漁 業	24	0.0	16.7	16.7	12.5	70.8	45.8	25.0
	商工サービス業	135	2.2	17.8	20.0	8.9	71.1	40.7	30.4
	常 雇 被 用 者	656	0.6▲	12.3▲	13.0▲	10.4	76.7	46.5	30.2
	公 務 員	84	2.4	16.7	19.0	6.0	75.0	52.4	22.6
	民間企業被用者	572	0.3▲	11.7▲	12.1▲	11.0	76.9	45.6	31.3
	小企業被用者	135	0.7	11.9	12.6	10.4	77.0	46.7	30.4
	中企業被用者	275	0.4	10.9▲	11.3▲	12.0	76.7	43.3	33.5
	大企業被用者	132	0.0	10.6	10.6	11.4	78.0	47.0	31.1
	非 正 規 社 員	740	1.1	10.5▲	11.6▲	8.9	79.5	47.4	32.0
	無 職	1,000	2.6	20.5	23.1	11.4	65.5▲	40.7▲	24.8▲
本人年収	収 入 は な い	383	2.3	14.1	16.4	13.1	70.5	40.7	29.8
	100 万 円 未 満	595	1.5	12.4▲	13.9▲	10.6	75.5	44.4	31.1
	100～300万円未満	902	1.7	15.3	17.0	9.4	73.6	43.8	29.8
	300～500万円未満	294	1.0	15.3	16.3	9.5	74.1	50.0	24.1
	500 万 円 以 上	124	2.4	22.6	25.0	9.7	65.3	47.6	17.7▲

7. 介護保障に対する今後の準備意向

介護に対する現在の経済的準備にプラスして今後新たな準備をする意向があるのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

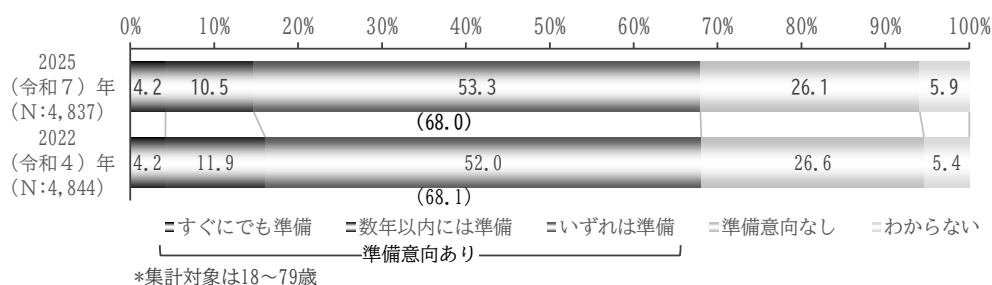
あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に備えて、今後新たに経済的な準備をしたいとお考えですか。

- (ア) すぐにでも準備したい……………以下「すぐにでも準備」
 (イ) 数年以内には準備したい……………以下「数年以内には準備」
 (ウ) 特に時期は決めていないが、いずれは準備したい……………以下「いずれは準備」
 (エ) まったく準備するつもりはない……………以下「準備意向なし」
 わからない

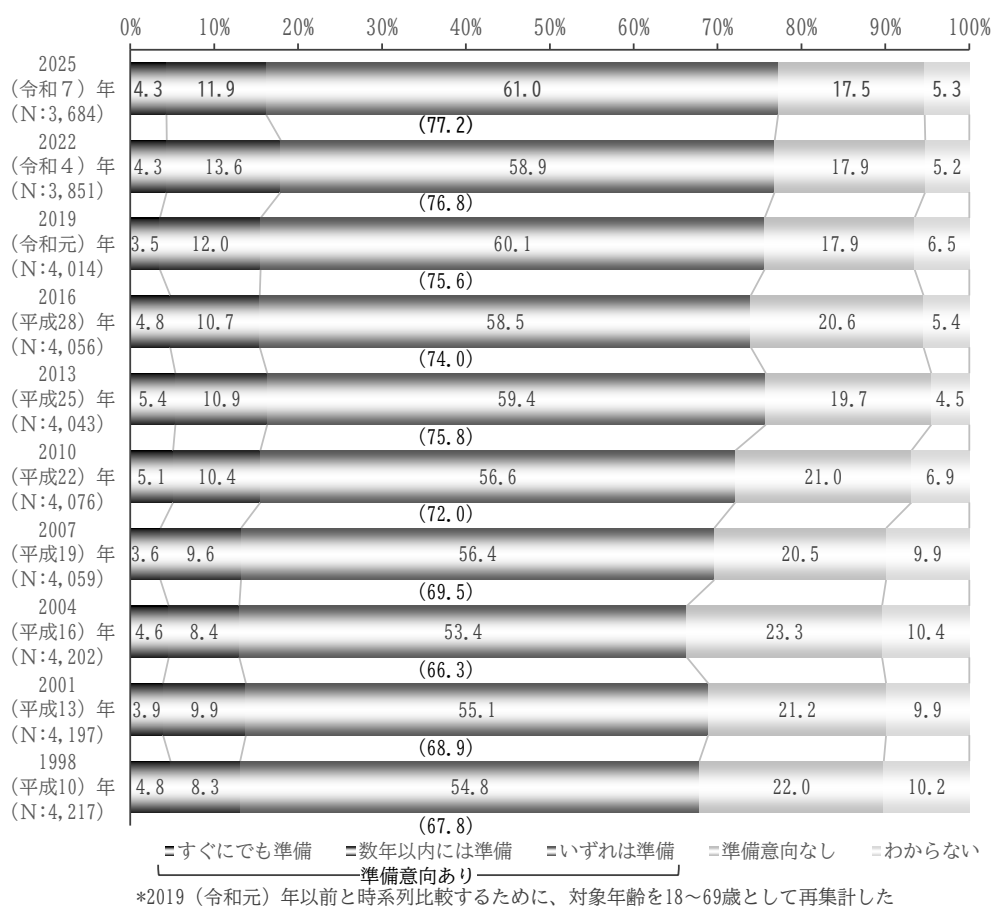
その結果、「準備意向あり」(上記の選択肢で(ア)～(ウ)のいずれかに回答した人の合計)は68.0%、「準備意向なし」は26.1%となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。(図表V-24)

<図表 V-24> 介護保障に対する今後の準備意向



【参考】時系列でも、一貫した傾向はみられない。



性別にみても、大きな差異はみられない。

性・年齢別にみると、「準備意向あり」は男女とも 20～50 歳代で高くなっている。(図表 V-25)

<図表 V-25> 介護保障に対する今後の準備意向〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	すぐにでも 準備	数年以内 には準備	いずれは 準備	準備意向 あり	準備意向 なし	わからない
男 性	2,101	4.3	10.7	52.3	67.3	27.3	5.4
20 歳代	181	3.3	7.7	71.8	82.9	10.5▲	6.6
30 歳代	225	2.2	7.6	71.6	81.3	13.3▲	5.3
40 歳代	363	6.3	14.0	61.4	81.8	13.2▲	5.0
50 歳代	406	4.2	16.0	61.8	82.0	13.8▲	4.2
60 歳代	404	5.0	11.1	42.3▲	58.4▲	36.4	5.2
70 歳代	485	3.9	6.4▲	28.7▲	39.0▲	54.4	6.6
女 性	2,736	4.1	10.4	54.0	68.5	25.2	6.3
20 歳代	165	1.2	8.5	75.2	84.8	10.3▲	4.8
30 歳代	282	1.8▲	12.8	71.3	85.8	9.2▲	5.0
40 歳代	438	2.5	14.2	73.3	90.0	6.8▲	3.2▲
50 歳代	576	6.1	12.3	63.9	82.3	13.7▲	4.0▲
60 歳代	579	5.9	10.4	44.2▲	60.4▲	30.7	8.8
70 歳代	668	3.7	6.0▲	28.3▲	38.0▲	53.3	8.7

性・本人職業別にみると、「準備意向あり」は男性では商工サービス業、民間企業被用者で、女性では常雇被用者および非正規社員で、それぞれ高くなっている。(図表V-26)

<図表 V-26> 介護保障に対する今後の準備意向〔性・本人職業別〕

(単位：％)

	N	すぐにでも 準備	数年以内 には準備	いずれは 準備	準備意向 あり	準備意向 なし	わからない
男 性	2,101	4.3	10.7	52.3	67.3	27.3	5.4
自 営 者	310	6.8	13.5	51.3	71.6	24.5	3.9
農 林 漁 業	44	6.8	6.8	36.4▲	50.0▲	40.9	9.1
商工サービス業	226	8.0	14.6	54.0	76.5	20.4▲	3.1
常 雇 被 用 者	1,086	4.5	12.8	59.0	76.3	18.6▲	5.1
公 務 員	107	3.7	6.5	64.5	74.8	21.5	3.7
民間企業被用者	979	4.6	13.5	58.4	76.5	18.3▲	5.2
小企業被用者	192	7.8	10.9	56.8	75.5	17.7▲	6.8
中企業被用者	491	3.5	15.5	58.0	77.0	18.1▲	4.9
大企業被用者	273	3.7	11.7	61.5	76.9	18.7▲	4.4
非 正 規 社 員	166	3.0	7.8	59.6	70.5	25.3	4.2
無 職	447	3.1	5.8▲	30.2▲	39.1▲	52.8	8.1
女 性	2,736	4.1	10.4	54.0	68.5	25.2	6.3
自 営 者	190	7.4	13.2	48.4	68.9	26.3	4.7
農 林 漁 業	25	4.0	16.0	32.0▲	52.0	36.0	12.0
商工サービス業	141	7.1	12.1	49.6	68.8	28.4	2.8
常 雇 被 用 者	672	4.3	10.6	68.6	83.5	13.4▲	3.1▲
公 務 員	85	2.4	9.4	72.9	84.7	14.1▲	1.2▲
民間企業被用者	587	4.6	10.7	68.0	83.3	13.3▲	3.4▲
小企業被用者	139	2.9	11.5	68.3	82.7	14.4▲	2.9
中企業被用者	282	4.6	11.3	68.8	84.8	12.1▲	3.2▲
大企業被用者	135	5.2	8.1	70.4	83.7	12.6▲	3.7
非 正 規 社 員	765	5.2	12.7	61.6	79.5	15.7▲	4.8
無 職	1,027	2.9▲	8.4▲	38.9▲	50.1▲	40.7	9.2

8. 介護の資金をまかなう手段

自分自身が要介護状態になった場合に、どのような手段で介護費用をまかなっていこうと考えているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に、どのような手段で介護費用をまかなっていこうとお考えですか。これから準備しようとお考えのものも含めて、この中からいくつでもお答えください。

- (ア) 公的介護保険
- (イ) 公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）
- (ウ) 企業年金・退職金
- (エ) 民間の生命保険会社や郵便局、J A（農協）などで取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「生命保険」
- (オ) 民間の生命保険会社や郵便局、J A（農協）などで取り扱っている個人年金保険・変額個人年金保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「個人年金保険・変額個人年金保険」
- (カ) 介護費用保険などの損害保険……………以下「損害保険」
- (キ) 預貯金
- (ク) 株式・債券などの有価証券……………以下「有価証券」
- (ケ) 不動産の売却や賃貸などによる収入……………以下「不動産による収入」
- (コ) 子どもからの援助
- (サ) その他
わからない

その結果、「公的介護保険」が78.5%と最も高く、以下「預貯金」(66.4%)、「公的年金」(64.6%)、「生命保険」(27.0%)の順となっている。

前回と比較すると、「公的介護保険」が3.1ポイント、「有価証券」が2.2ポイント、それぞれ増加し、「生命保険」が3.1ポイント減少している。(図表V-27)

<図表 V-27> 介護の資金をまかなう手段

(複数回答, 単位: %)

	N	公的 介護 保険	公的 年金	企業 年金・ 退職 金	生命 保険	個人 年金保 険・変 額個 人年金 保険	損害 保険	預貯 金	有価 証券	不動 産に よる 収入	子ど もか らの 援助	そ の 他	わ か ら な い
2025 (令和7)年	4,837	78.5	64.6	21.9	27.0	10.0	8.4	66.4	10.6	4.1	2.7	0.4	3.5
2022 (令和4)年	4,844	75.4	64.1	22.2	30.1	10.1	8.8	66.0	8.4	3.3	2.3	0.5	3.7

*集計対象は18～79歳

【参考】時系列でみると、2010（平成22）年以降、「有価証券」の増加傾向が続いている。

（複数回答，単位：％）

	N	公的 介護保 険	公的 年金	企業 年金・ 退職金	生命 保険	個人 年金保 険・ 変額個 人年金保 険*	損害 保険	預貯 金	有価 証券	不動 産に よる 収入	子ど もか らの 援助	そ の 他	わ か ら な い
2025 （令和7）年	3,684	77.7	64.3	25.4	29.4	10.9	9.6	65.7	10.9	3.6	2.2	0.4	3.8
2022 （令和4）年	3,851	74.2	63.7	25.3	31.9	11.1	9.8	65.1	8.4	3.1	1.8	0.4	4.1
2019 （令和元）年	4,014	73.6	60.9	26.3	31.0	10.9	8.2	63.5	5.5	4.8	2.0	0.2	5.0
2016 （平成28）年	4,056	76.9	63.8	25.7	29.6	11.0	7.8	64.2	5.4	3.6	2.8	0.7	4.0
2013 （平成25）年	4,043	74.1	59.8	23.7	26.9	10.3	6.5	59.4	4.4	2.7	3.1	0.8	4.4
2010 （平成22）年	4,076	75.6	59.2	22.6	26.0	11.3	6.1	60.9	4.4	3.1	3.2	0.9	5.1
2007 （平成19）年	4,059	74.9	59.0	21.9	28.9	12.8	7.3	58.5	4.8	4.0	3.4	0.6	6.4
2004 （平成16）年	4,202	73.7	61.0	18.5	30.4	12.8	5.7	57.2	4.1	3.6	4.7	0.5	7.6
2001 （平成13）年	4,197	71.2	61.9	24.1	32.5	15.9	7.4	59.0	4.2	3.5	4.2	0.5	7.3
1998 （平成10）年	4,217	48.3	59.6	22.4	33.7	18.8	6.4	58.9	3.7	4.0	4.9	0.4	10.1

*2004（平成16）年調査以前は「個人年金保険」

*2019（令和元）年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「公的介護保険」、「預貯金」、「子どもからの援助」は女性の方が高く、「企業年金・退職金」、「損害保険」、「有価証券」、「不動産による収入」は男性の方が高くなっている。

性・年齢別にみると、「公的介護保険」は男性 60～70 歳代で高くなっている。また、「生命保険」は男性 40～50 歳代、女性 30～50 歳代で高く、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男女とも 40 歳代で高くなっている。（図表 V-28）

<図表 V-28> 介護の資金をまかなう手段〔性・年齢別〕

（複数回答，単位：％）

	N	公的 介護保 険	公的 年金	企業 年金・ 退職金	生命 保険	個人 年金保 険・ 変額個 人年金保 険	損害 保険	預貯 金	有価 証券	不動 産に よる 収入	子ど もか らの 援助	そ の 他	わ か ら な い
男 性	2,101	77.1	64.6	29.0	26.2	10.4	10.0	64.3	15.1	4.8	1.9	0.5	3.4
20 歳代	181	69.1▲	65.2	44.2	23.8	8.3	12.2	60.8	14.4	1.1▲	1.7	0.0	8.8
30 歳代	225	71.6▲	63.6	37.8	22.7	9.3	9.3	68.4	17.8	2.2	0.9	0.4	5.3
40 歳代	363	73.0▲	64.2	39.7	34.4	14.6	14.6	62.8	17.4	6.1	1.4	0.3	4.1
50 歳代	406	77.3	63.5	33.3	33.5	12.1	9.6	61.3	13.8	3.9	1.0	0.7	1.5▲
60 歳代	404	83.7	67.6	21.3▲	24.3	11.6	11.1	67.1	17.6	6.2	2.7	0.5	1.7▲
70 歳代	485	80.4	65.2	14.0▲	19.4▲	6.4▲	5.2▲	65.4	12.4	6.4	2.9	0.8	2.5
女 性	2,736	79.5	64.6	16.4	27.6	9.7	7.1	68.1	7.2	3.6	3.4	0.3	3.5
20 歳代	165	74.5	61.2	33.9	18.8▲	2.4▲	10.3	64.8	3.6	0.6▲	1.2	0.0	10.9
30 歳代	282	73.4▲	59.2▲	23.8	33.0	12.4	11.7	70.9	7.4	1.4▲	0.0▲	0.0	4.3
40 歳代	438	79.7	62.8	20.5	34.2	12.8	8.7	62.8▲	5.5	3.0	2.5	0.2	3.4
50 歳代	576	80.6	64.9	18.2	33.5	11.1	6.9	64.9	9.2	3.3	2.4	0.3	2.6
60 歳代	579	82.0	68.6	12.3▲	26.8	9.3	6.6	71.5	7.1	4.7	4.5	0.5	2.8
70 歳代	668	81.4	66.0	8.2▲	19.3▲	7.5▲	3.9▲	71.3	7.6	5.2	5.5	0.4	2.1▲

性・本人職業別にみると、「生命保険」は男性の商工サービス業、大企業被用者、女性の商工サービス業、公務員、大企業被用者で高く、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男性の商工サービス業、大企業被用者、女性の商工サービス業で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「企業年金・退職金」、「生命保険」は男女とも概ね高年収層ほど高くなっている。また、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男性では500～700万円未満の層および1,000万円以上の層で、女性では300万円以上の層で、それぞれ高くなっている。（図表V-29）

<図表 V-29> 介護の資金をまかなう手段〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

(複数回答、単位：%)														
		N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	個人年金保険・変額個人年金保険	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない
男性		2,101	77.1	64.6	29.0	26.2	10.4	10.0	64.3	15.1	4.8	1.9	0.5	3.4
本人職業	自営者	310	74.2	62.6	13.5▲	32.6	14.8	12.3	68.4	15.5	9.0	3.2	0.3	2.9
	農林漁業	44	75.0	79.5	9.1▲	31.8	11.4	9.1	50.0▲	2.3▲	4.5	4.5	2.3	6.8
	商工サービス業	226	74.8	59.7	16.4▲	34.5	16.4	13.7	69.9	16.8	10.6	3.5	0.0	1.8
	常雇被用者	1,086	76.7	67.3	41.2	28.8	12.1	12.1	64.0	16.7	4.1	1.8	0.2▲	3.0
	公務員	107	79.4	75.7	53.3	27.1	14.0	11.2	68.2	15.9	4.7	1.9	0.0	2.8
	民間企業被用者	979	76.4	66.4	39.8	29.0	11.8	12.2	63.5	16.8	4.1	1.8	0.2	3.1
	小企業被用者	192	79.7	69.3	24.5	27.1	12.0	12.0	57.8	9.9▲	2.6	4.2	0.0	4.7
	中企業被用者	491	77.0	65.6	37.7	28.9	9.4	10.0	63.5	15.3	4.5	1.6	0.2	3.5
	大企業被用者	273	73.6	66.3	54.2	31.1	15.8	15.8	67.4	25.3	4.8	0.7	0.4	1.5
	非正規社員	166	73.5	60.8	16.3▲	21.1	7.2	7.2	64.5	9.6▲	5.4	0.6	0.0	4.2
無職	447	81.4	62.4	13.6▲	18.1▲	4.5▲	4.3▲	63.3	13.0	4.0	1.6	1.8	2.9	
本人年収	収入はない	93	75.3	53.8▲	12.9▲	17.2▲	7.5	5.4	49.5▲	7.5▲	0.0▲	0.0	2.2	6.5
	300万円未満	631	79.7	61.8	18.5▲	19.7▲	6.8▲	5.9▲	61.6	8.7▲	4.0	1.7	0.8	3.0
	300～500万円未満	472	77.5	66.9	33.5	27.5	10.8	11.9	64.8	13.3	4.7	3.2	0.2	3.2
	500～700万円未満	335	74.0	68.1	41.2	37.0	14.9	12.2	68.1	17.9	4.8	1.8	0.3	2.1
	700～1,000万円未満	187	73.8	68.4	44.4	31.0	12.8	16.6	69.0	24.6	8.6	1.1	0.0	2.1
	1,000万円以上	89	80.9	67.4	44.9	40.4	23.6	18.0	75.3	46.1	13.5	2.2	0.0	1.1
女性		2,736	79.5	64.6	16.4	27.6	9.7	7.1	68.1	7.2	3.6	3.4	0.3	3.5
本人職業	自営者	190	77.9	65.3	5.8▲	33.2	16.3	7.9	67.9	7.4	3.2	0.5▲	1.6	2.6
	農林漁業	25	72.0	60.0	4.0	32.0	20.0	8.0	72.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0
	商工サービス業	141	80.9	68.1	5.7▲	34.8	17.0	6.4	68.8	7.8	2.8	0.7	0.7	1.4
	常雇被用者	672	81.4	66.5	35.1	33.9	10.4	8.9	70.8	7.1	2.5	2.7	0.0	3.0
	公務員	85	88.2	76.5	45.9	37.6	11.8	8.2	76.5	8.2	2.4	2.4	0.0	1.2
	民間企業被用者	587	80.4	65.1	33.6	33.4	10.2	9.0	70.0	7.0	2.6	2.7	0.0	3.2
	小企業被用者	139	75.5	65.5	20.1	32.4	8.6	6.5	62.6	7.9	4.3	1.4	0.0	5.8
	中企業被用者	282	80.1	66.7	35.5	28.4	12.1	8.5	70.6	5.0	1.4▲	3.5	0.0	2.5
	大企業被用者	135	85.2	63.0	45.2	45.2	9.6	13.3	74.1	9.6	3.0	0.7	0.0	1.5
	非正規社員	765	80.0	62.5	12.9▲	29.4	9.5	7.6	63.4▲	5.4▲	3.9	3.4	0.1	3.8
無職	1,027	79.3	64.8	7.9▲	21.9▲	8.3	5.5▲	70.7	8.8	4.4	4.3	0.5	2.6	
本人年収	収入はない	400	73.3▲	62.3	8.5▲	27.8	9.0	9.0	69.3	7.3	2.3	1.8	0.3	3.8
	100万円未満	615	77.9	62.3	10.4▲	19.5▲	7.6	6.8	64.2▲	5.7	4.9	4.2	0.5	3.9
	100～300万円未満	923	81.9	67.5	14.7	31.0	9.9	6.9	68.6	7.5	3.3	3.9	0.5	3.0
	300～500万円未満	299	82.3	65.9	33.4	34.8	14.7	10.0	76.3	9.0	2.3	3.3	0.0	1.3▲
	500万円以上	126	83.3	68.3	49.2	42.9	15.9	7.9	74.6	18.3	4.8	1.6	0.0	3.2